

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、24～29℃台を示し、平年並み～やや高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週の59%（前年を上回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり17トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり0.1kgの水揚げで、前週を下回った（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり54kgの水揚げで、前週の5倍（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり32kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり1.1トンの水揚げで、前週の6倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり17kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を下回った）。
- 定置網——五島有川地区では、ハガツオなどが1日1統当たり28kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マルアジなどが1日1統当たり352kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり618kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、カマスが1日当たり65kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（7/11～7/19の9日間）沖合イカ釣（船凍船）は、大和堆周辺で操業するも大半が八戸沖に移動。数隻が能登半島沖から北西に移動中。赤イカは北太平洋で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖で操業。鳥取県西部（沖合船）1日延1隻、総計33箱、スルメイカ（20～30入）32箱、ケンサキイカ（入合わせ）1箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>